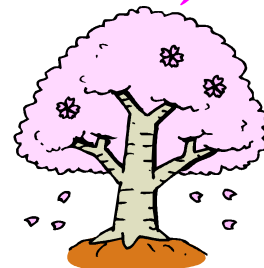


衣笠山からの便り

第119号 令和7年6月15日発行
発行元 社会福祉法人元気村グループ
社会福祉法人心の会 理事長 神成裕介
住所 〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4
電話 046-850-3301 (法人本部)
ファックス 046-852-4040



◎さくらの里(デイサービス・ケアマネ) 小矢部4-19-4 TEL852-0500

◎さくらの里山科(特別養護老人ホーム・ショートステイ) 太田和5-86-1 TEL857-6333

◎さくらの家二番館(高齢者グループホーム) 小矢部4-15-8 TEL850-3125

◎さくらの家三番館(高齢者グループホーム) 小矢部4-15-7 TEL850-5688

★さくらグループHP <http://sakura2000.jp/>

◎あすなろ学苑(障害者就労継続支援B型事業) 小矢部4-19-4 TEL852-0600

◎あすなろの家(知的障害者グループホーム)第1・2・3・5・8 横須賀市内 TEL852-1221(第3あすなろの家)

◎相談室あすなろ(衣笠障害者相談サポートセンター) 公郷町2-7-19 コワ衣笠ビル1階 TEL853-3415

★あすなろ学苑HP <https://asunarogakuen.com/>

◎まちの診療所つるがおか(地域支援型診療所 内科在宅診療部他) 鶴が丘2-3-9 TEL825-5121

さくらの里デイサービス 東京旅行 観光バスで行く介護旅行



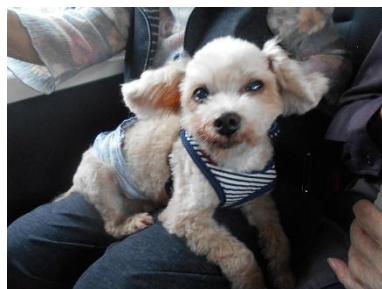
5月24日(土)

さくらの里が6年ぶりに、観光バスによる介護旅行を実施しました。ご参加くださったのは、さくらの里のお客様ばかりではありません。さくらの家、あすなろの家、さくらの里山科、それぞれのご入居者様に加え、一般のご高齢者様までご参加下さり、盛大なツアーになりました。

予約を取るのが困難な迎賓館を見学し、築地の名店、寿司ざんまいでお食事をして、とても楽しい旅行になりました。秋にはまた観光バス旅行を開催しますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

ペットと暮らせる特養から

マロン君とアオ君とサリーちゃん
虹の橋へ



マロン君

享年16歳

4月27日逝去



アオ君

享年推定16歳

5月21日逝去



サリーちゃん

享年16歳

5月31日逝去

法人施設活動報告：さくらの里ケアマネジャー



訪問看護

ケアマネ部門ケアマネジャー・須藤直子

訪問看護サービスのメリットとしては在宅で医療行為が受けられることです。医療処置が必要な方でも入院せず、ご自宅での生活が続けられます。

24時間連絡体制をとる訪問看護事業所も多く、夜間や休日でも電話相談が出来る事や、必要に応じて看護職員が訪問してくれることは、介護をしているご家族様にとって、大変心強いことでしょう。さらに、お看取りの時には、医師からの指示書があれば、2週間毎日看護職員に来てもらうことも可能です。

訪問看護のサービスをご利用する際にはケアマネジャーが交渉、手配を致します。まずはケアマネジャーにご相談ください。

法人施設活動報告：さくらの家

高齢者グループホーム
二番館、三番館



薔薇のヴェルニー公園散策

美しいバラと、海に浮かぶアメリカ軍の軍艦が眺められるヴェルニー公園に行ってきました。久しぶりのヴェルニー公園には、戦艦陸奥の大砲が新たに飾られていました。皆さん、興味津々です。楽しい小旅行になりました。



法人施設活動報告：さくらの里デイサービス



お抹茶の会

さくらの里で、内部イベントの一番人気を争うイベント、お抹茶の会。今年の春も開催しました。

皆さん、茶筌（ちゃせん）を握ると少し緊張されるようで、自然と背筋が伸びていました。心身ともにしゃきっとすることがお抹茶の会の魅力です。皆さん充実したひと時を過ごしていました。

法人施設活動報告：さくらの里山科・特養ホーム



五平餅作りレク 2-1&2-2ユニット

ショートステイに続いて、特養ホームでも五平餅作りに挑戦！ベランダにバーベキューコンロを設置し、炭火で焼く本格的な五平餅作りに取り組みました。ご飯を練って固める作業、ご入居者様皆様さすがにお見事でした。とても楽しくて、とても美味しいレクリエーションでした。



法人施設活動報告：さくらの里山科・ショートステイ



ビアードパパのシュークリームを体験

人気の有料イベント、特選グルメ体験。毎月2回開催しています。5月の1回目は、シュークリーム専門店、ビアードパパの味をご体験頂きました。皆さん、シュークリーム専門店があることを初めて知り、驚愕していました。





一流パティシエによる製菓技術指導

香川調理製菓専門学校で教鞭をとられており、フランスの権威あるコンクールでの優勝経験もある川内先生に毎年、製菓の技術講習をボランティアでお願いしております。

習いたいアイテムをリクエストし、先生が作りやすい配合にレシピ起こしをして下さっています。今回は、シュトロイゼルクッキー、フルーツサブレ、チョコレートのテネパリングなど6種類を教えて頂きました。

始めに川内先生にデモンストレーションして頂いた後、職員一人一人が実際製造にチャレンジしますが、見るとやるとでは大違い。絞ると一言に言っても、同じ長さや太さに均一に絞る、口金を使って丸く絞る、型の深さに合わせて同じ量を絞る等テクニックが異なります。

焼き菓子の製造は、油脂と水溶性材料を混ぜ乳化させる等、温度、柔らかさ、素材を入れる順番等に気をつけないと失敗に繋がります。

毎年製菓技術だけでなく製菓科学も同時に教えて下さり、職員の技量アップ、授産活動の向上や活性化に繋がっています。



法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者グループホーム
相談室あすなろ



相談室あすなろの体制

室長：岸川江利子

相談室あすなろは、障害者基幹相談支援センター、障害者委託相談支援事業所、障害者指定・特定相談支援事業所の3本の相談事業を中心とする体制で相談を受けております。今年度も、職員5名で変わりなく、「笑い声を地域に届けよう～」をスローガンに精一杯相談を受けていく所存です。

年度が変わったタイミングで、新規のご相談も大変増えております。支援学校の卒業生が社会に飛び立ち、羽を休めに来られている方もいますし、長年ひきこもっていた方が働いてみたいという気持ちになり、当所の扉を開けた方もいます。

一方、前向きな話ばかりではなく、通所がうまくいかず辞めてしまい、親御さんがひきこもってしまうのではないかと心配になり、来られた方もいらっしゃいます。単身で生活をされていて今後のことで不安になりいらした方もいます。

障がいに関することでお困りのことがあった際には、一步踏み出して、当所の扉を開けていただければと思います。

法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム

第一（小矢部）・第二（小矢部）
第三（小矢部）・第五（若宮台）
第八（太田和）



衣笠山でお花見 第1・2・3 あすなろの家

第1～3 あすなろの家は桜の名所、衣笠山公園の中腹にあります。だからお花見は毎年欠かせないイベントです。皆さん元気に高台にある広場まで歩き、桜を愛でつつ、横須賀の眺めを楽しんでいらっしゃいました。桜餅も用意し、皆様に目でも舌でも季節を感じて頂きました。





熱中症についての一考 院長：白井輝

人間の体は大自然が創造した神秘に満ちた奇跡の産物で、精密で緻密な機能に満ちています。その中の一つに、生命維持の基本となる体のホメオスタシス（恒常性）を維持する機能があり、生体が内部環境を一定の状態に保つための調節機構です。

なかでも体温を一定に維持する体温調節機構は最も重要な機能です。体温が高い場合は発汗や皮膚血管の拡張により体温を下げ、体温が低い場合はふるえ（悪寒戦慄）や代謝の亢進によって体温を上げることで調節します。

しかし、この調節機能にも限界があり、過度の環境変化にさらされると対応しきれなくなります。熱中症とは簡単に言うと「調節機構が破綻して体がオーバーヒートした状態」のことです。

少し視点を変えて、「熱中症」がニュース等で盛んに注意喚起されてきて久しいですが、その背景には、地球温暖化とそれに伴う異常気象への恐怖もあると思われます。文明の発展が結果的に大気中の二酸化炭素増加を導き、その温暖化作用のために、地球が太古の昔から維持していた温度調節機構、つまり太陽から受け取る熱と、宇宙に放出する熱のバランスが破綻しつつあるのです。ある意味で、地球全体が「熱中症」となっているようにも見受けられ、それが、大自然が創造した緻密な精密機械にも影響を与えてきているとも言えます。つまり近年の熱中症の“流行”は人類自らが招いた災いとも言える側面もあるのです。

さて、わが国の熱中症死亡の特徴として、7割近くが高齢者で、さらにその多くが日常生活時に発生しているとのことです。これからの暑い季節、特に高齢者の方は日常での生活環境に充分配慮して、水分をしっかりと摂り、人類の災いに負けることなく健康に夏を乗り切りましょう。

外来診療体制

時間\曜日	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	○
15時～17時半	×	○	○	×	○	×

※第5土曜日のみ休診致します

ご寄付の御礼とお願い

3月～5月の3ヶ月で、多数のご寄付を頂きました。貴重なご寄付ありがとうございました。

- ◎ 26名様からおやつ（お菓子、果物）を頂きました。
- ◎ 20名様から合計2,450枚以上の紙マスクを頂きました。
- ◎ 15名様から合計2,600枚以上の使い捨て手袋を頂きました。
- ◎ 11名様からペットフード・用品、供花のご寄付を頂きました。
- ◎ 6名様からタオル、オムツ、家具、衛生用品、食品等を頂きました。
- ◎ 14名様から合計294,880円のご寄付を頂きました。



*複数回ご寄付を頂いた方、お一人で数種類のご寄付を下さった方は、重複してカウントしております。ご了承下さい。

- ※紙マスクと使い捨て手袋が不足しております。ご寄付頂けると助かります。
- ※食材費が高騰しておりますので、各ホームのご入居者様のおやつに使えるお菓子（個包装された固くない物）をご寄付頂けると助かります。よろしくお願い致します。
- ※ご寄付は次の口座へのお振込みにてお願い致します。

① みずほ銀行 衣笠支店 普通口座 口座番号：1956146
口座名義 社会福祉法人心の会

② ゆうちょ銀行 口座記号：00280-5 口座番号：0048529
口座名義 社会福祉法人心の会

※ご寄付金については領収証をお送りしますので、法人本部までお知らせ頂ければ幸いです。
社会福祉法人の寄付領収証は確定申告等にご利用頂けます。



よこすか犬と猫の病院

広告

診療時間 月～日（年中無休）9時～12時、16時～19時 救急対応 21時～翌朝5時
横須賀市佐原 1-10-3（フジスーパー佐原店近く）電話046-827-6092